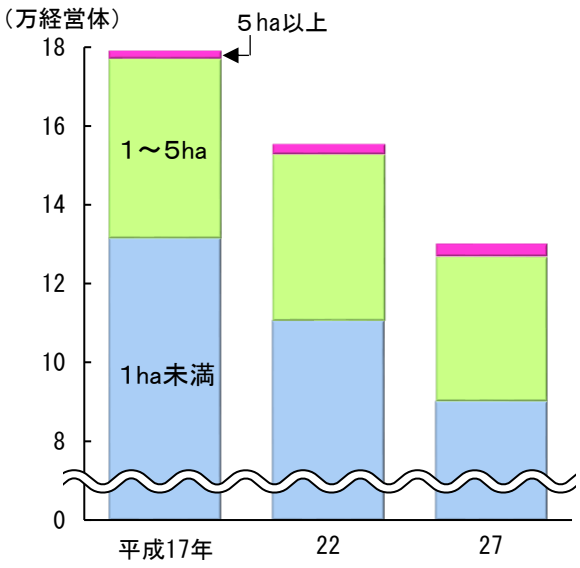
第１回「近畿における経営耕地大規模化の状況」
（2015年農林業センサスミニ分析）

近畿農政局統計部

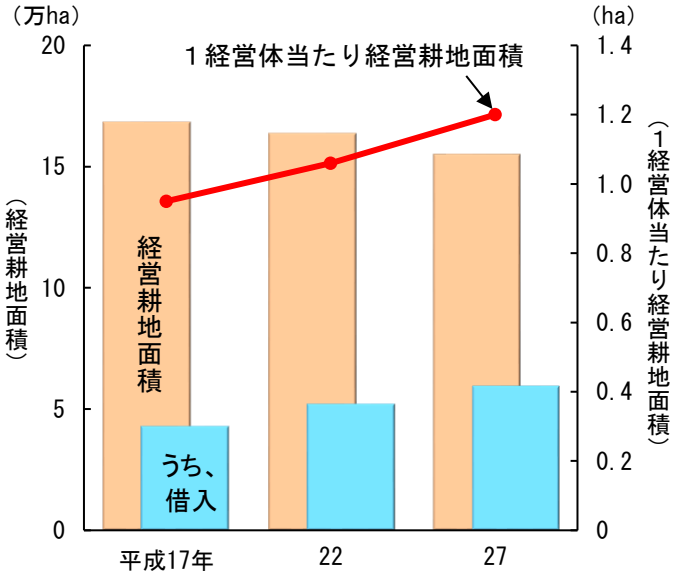
１　小規模経営体の離農に伴って貸出された耕地を大規模経営体が借入れ

○　近畿における農業経営体数（平成27年２月１日現在）は13万179経営体で、10年間で４万8,785経営体（27%）の減少。このうち、84%が経営耕地面積１ha未満の経営体の減少。
○　一方、経営耕地面積の10年間の推移をみると、借入耕地が増加（39%）し、これに伴って１経営体当たりの経営耕地面積が増加（26%）。
○　経営耕地面積規模別で５年前と比較すると、５ha以上の階層では農業経営体が592（22%）増加、経営耕地面積が１万887ha（35%）の増加となっている。

農業経営体数の推移

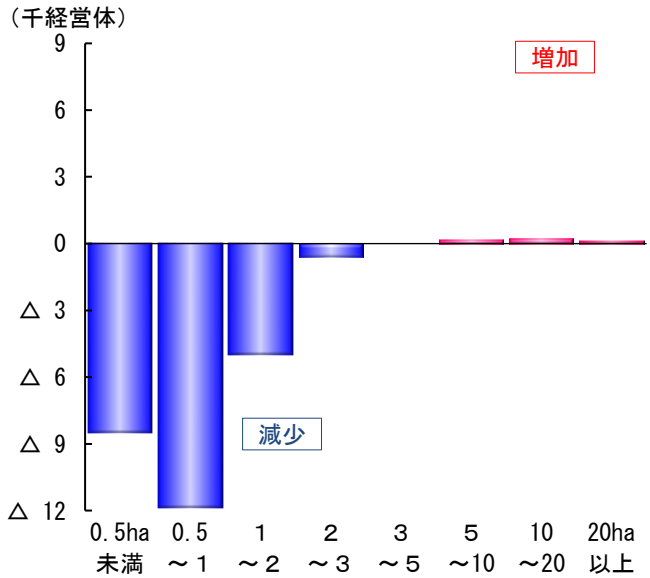


経営耕地面積及び借入耕地面積の推移

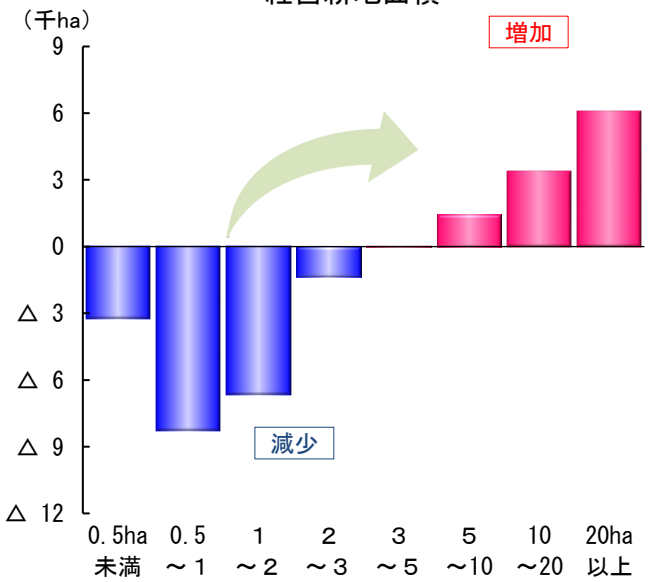


経営耕地面積規模別の農業経営体数及び経営耕地面積の増減（平成22年→27年）

農業経営体数



経営耕地面積

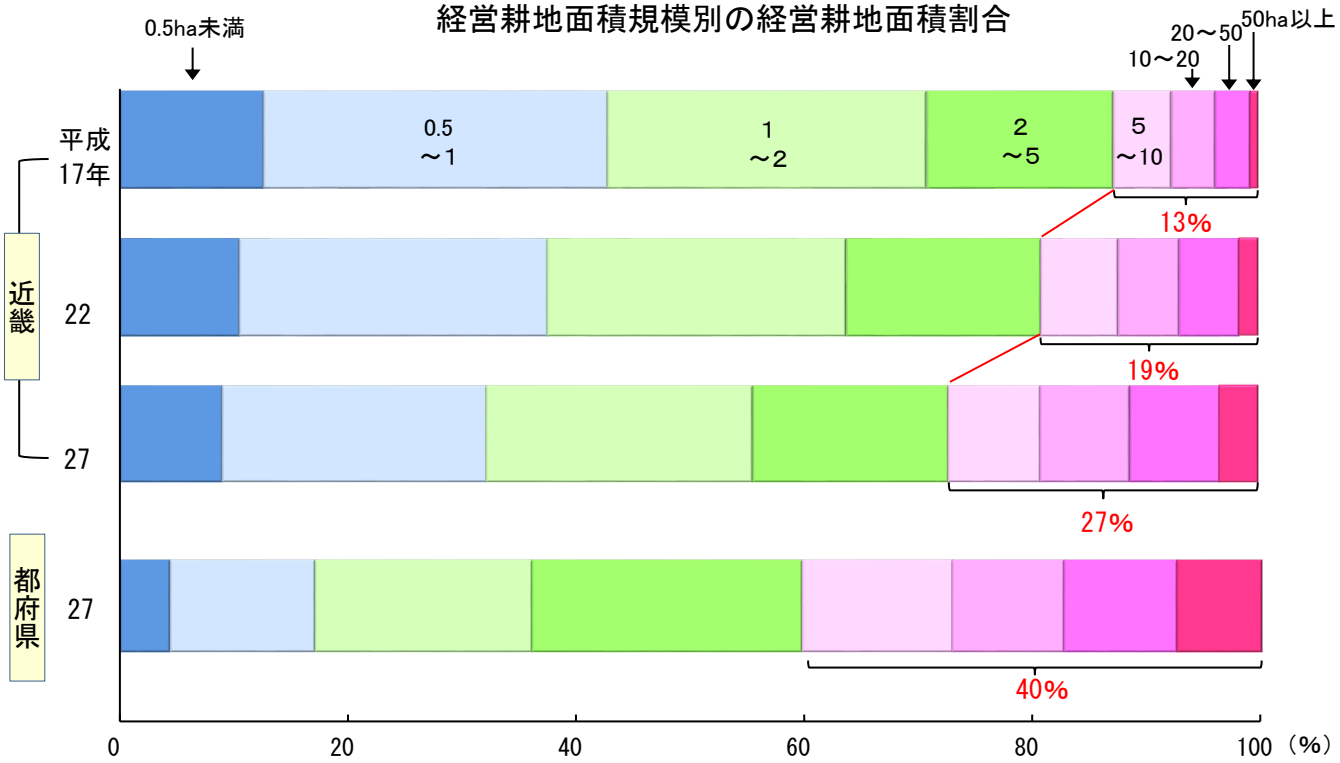


2　５ha以上の家族経営体の経営耕地面積は10年間で５割、組織は３倍に増加

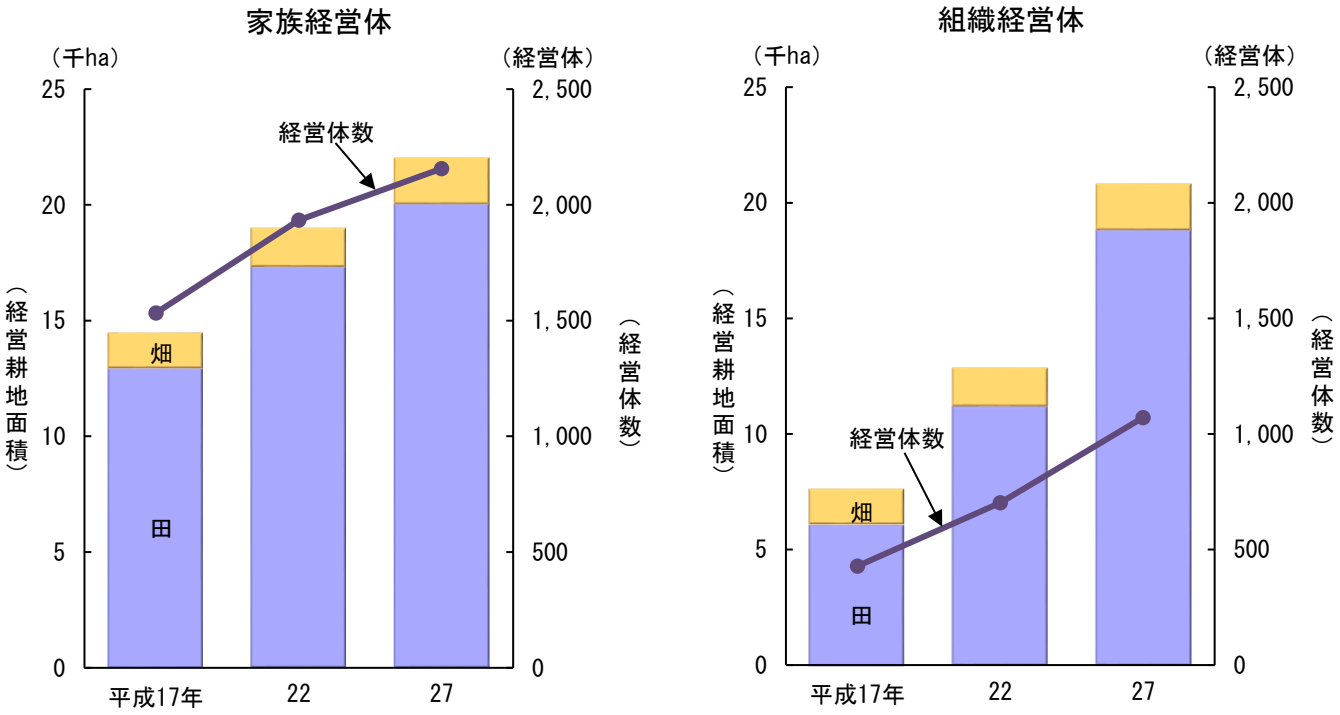
○　５ha以上の経営体の経営耕地面積割合(注)は27%で、10年間で14ポイント上昇。
○　５ha以上の経営体の経営耕地面積の推移をみると、家族経営体は２万2,002haで、10年間で５割増加。
　一方、組織経営体は２万136haで、数の増加や規模拡大により３倍に増加。

注：5ha以上の経営体の経営耕地面積割合＝5ha以上の経営体の経営耕地面積÷経営耕地面積（計）×100

経営耕地面積規模別の経営耕地面積割合



5ha以上の経営体の経営耕地面積及び経営体数の推移



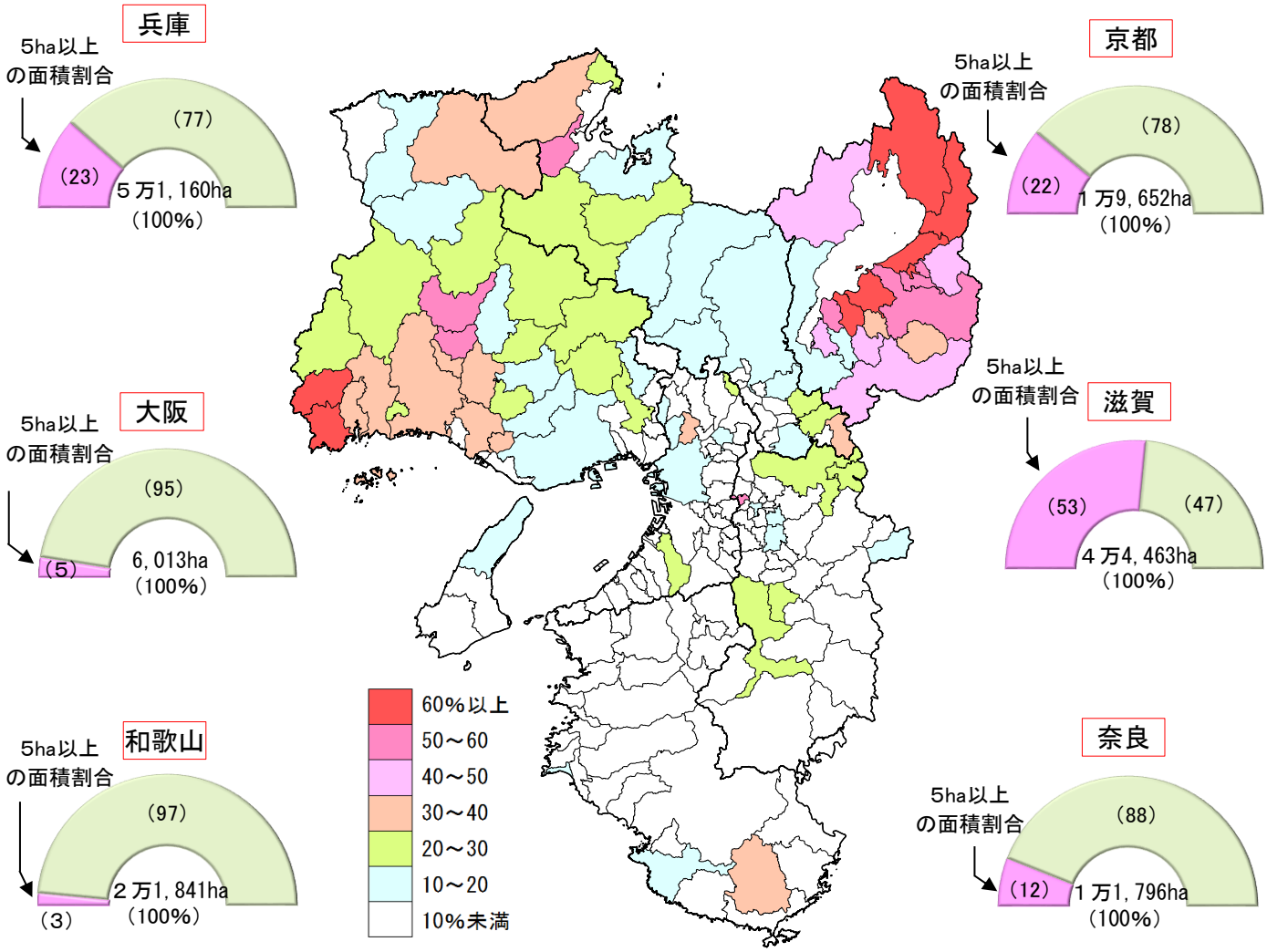
用語の説明：　家族経営体とは、農業経営体のうち個人経営体（農家）及び１戸１法人（農家であって農業経営を法人化している者）をいい、組織経営体とは、農業経営体のうち家族経営体に該当しない者をいう。

３　５ha以上の経営体の経営耕地面積割合は滋賀県が最も高く、53%

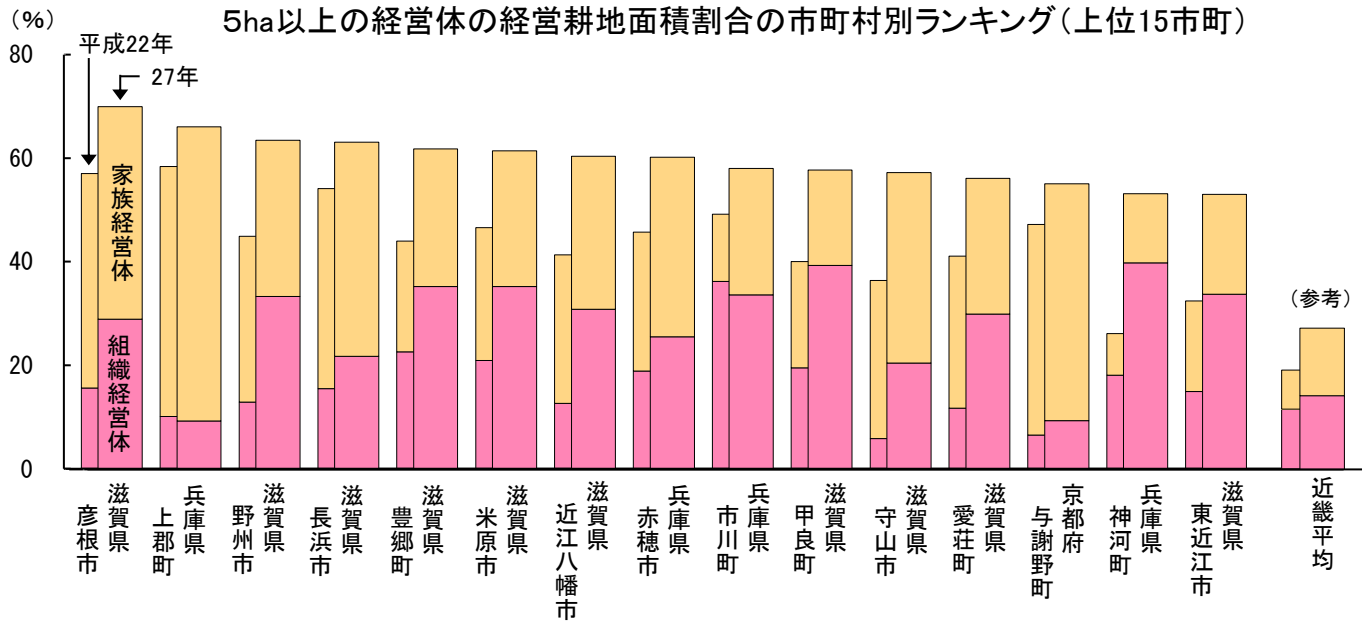
○　５ha以上の経営体の経営耕地面積割合は近畿平均の27%に対して滋賀県が53%で最も高く、次いで兵庫県23%、京都府22%の順。

○　市町村別ランキングをみると、滋賀県彦根市の70%を最高に、兵庫県上郡町の66%、滋賀県野州市の63%など、集落営農等の組織や大規模な水田作を行う家族経営体が多い市町の面積割合が高くなっている。

5ha以上の経営体の経営耕地面積割合
（市町村別マップ（平成27年））



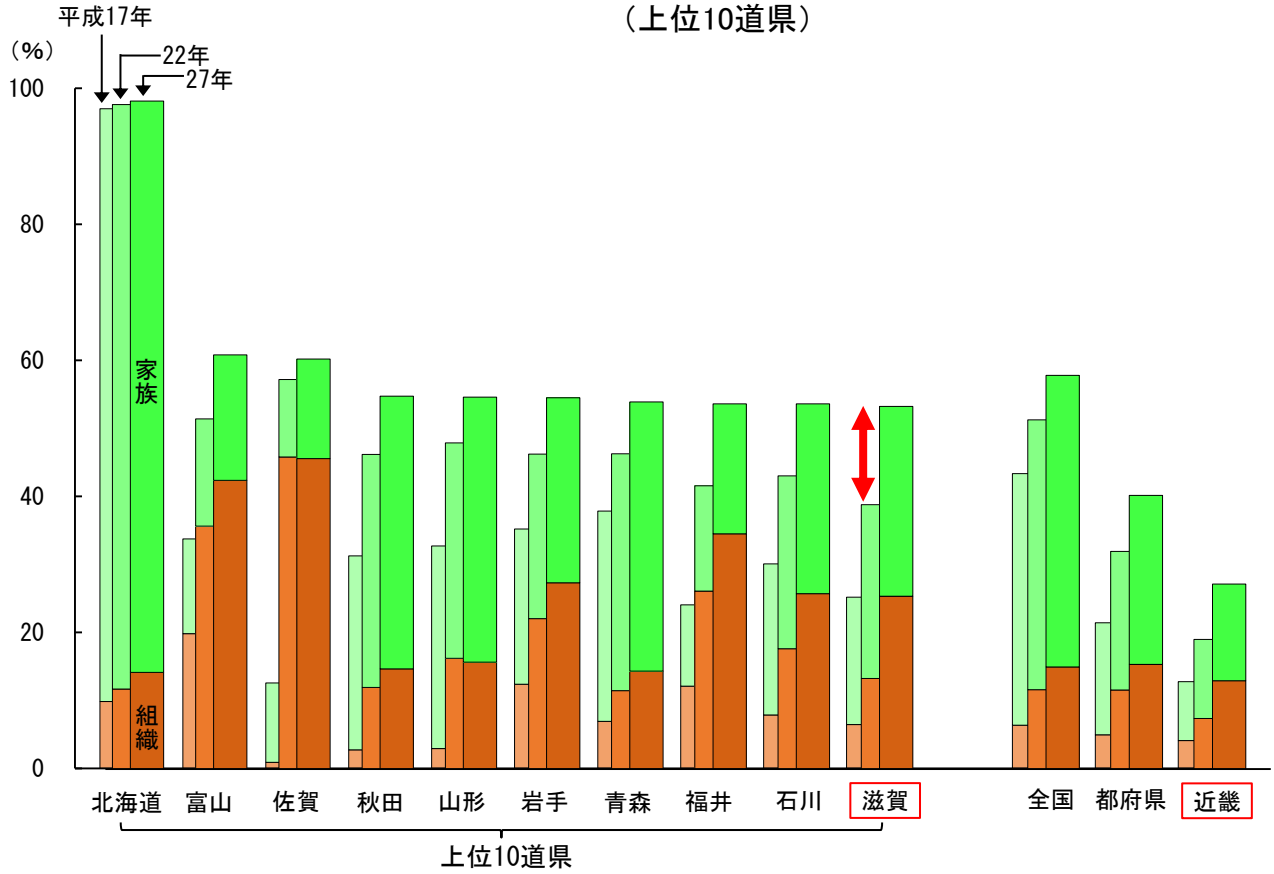
5ha以上の経営体の経営耕地面積割合の市町村別ランキング（上位15市町）



参考（全国）５ha以上の経営体の経営耕地面積割合の上昇は滋賀県が全国第１位

○　５ha以上の経営体の経営耕地面積割合の都道府県別ランキングをみると、滋賀県は53%で全国第10位。
○　また、５ha以上の経営体の経営耕地面積割合を５年前と比較すると、滋賀県は14ポイント上昇しており、これは全国で最も高い伸びとなっている。

5ha以上の経営体の経営耕地面積割合の都道府県別ランキング
（上位10道県）



面積割合の上昇が大きい県
（平成22年（%）→27年（%））

単位：ポイント

区　　分	上　位　５　県				
	滋賀	福井	三重	宮城	福岡
面積割合の上昇	14.4	12.0	11.2	10.9	10.8

単位：ポイント

参　　考		
全国	都府県	近畿
6.5	8.1	8.1

お問合わせ先：統計部統計企画課　電話０７５－４１４－９６２０